

# 『Mind Charging』

第 226 回 発行：入試広報室 発行日：令和 3 年 3 月 3 日

## 大坂なおみの名言



### 同じままでいるよりも人生は変化があった方が面白い。

競技スポーツというスタイルのトレンドも頻繁に変わり、データ分析や研究をされてしまう中で勝ち続けることや世界ランキングで第 1 位になるということは並大抵のことではないと思います。そういう意味では競技者としても常に変化を求められる立場にある大坂なおみ選手が素晴らしい成績を収めた秘訣が理解できた気がします。これ以上ない結果が出ていますので当然ですが、プロテニスプレイヤーという職業は彼女にとって『天職』と言えるものだと思います。

変化することを“面白い”と感じられるのはひとつの『才能』だと思います。変化することによって世界のトップに上り詰め、その立場になることで“人生そのものが変わった”彼女は、変化が“あった”のではなく変化を“起こした”と言えるでしょう。そういう意味では、自分も含めて『なんか面白いことないかな・・・』とつぶやいている人を見かけますが、つぶやいて終わってしまう人が多いのではないのでしょうか。私も正直なところ、最近は特にそんなことを言いながらスマホを触っているうちに時間だけが過ぎていたという休日を過ごすことが少なくないという現状です。そういう意味では彼女は“受け身”なだけでなく、欲求を満たすためのアクションをしっかりと起こし、その結果として現在の地位にまで上り詰めたということだと思います。

今回の言葉に触れることで、様々な人が様々な状況下で日々を過ごしている中で、“限界”を決めてしまっているのかもしれないと考えました。自分の人生に変化を起こすことができない理由を探すことは簡単です。また、その方が起こしたアクションが失敗に終わるというリスクがなくなるという観点からも『正しい選択』だと言い聞かせ、自分の気持ちに蓋をしてしまっているように感じます。アクションを起こさないということはエネルギーを使わないということですから“楽”です。でも、何もせずうれしい変化を待つことや、平坦な毎日にストレスを感じるのは違う気がします。変化を感じるのは達成感だと思います。自分にできることを探し、ポジティブな変化を実感したいものですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

大坂 なおみ(おおさか なおみ、英: Naomi Osaka、1997 年(平成 9 年)10 月 16 日 - )は、大阪府大阪市中央区出身の女子プロテニス選手。自己最高ランキングはシングルス 1 位。これまでに WTA ツアーでシングルス 6 勝を挙げている。うちグランドスラムは通算 3 勝で、2018 年と 2020 年の全米オープン、および 2019 年の全豪オープン優勝者。身長 180cm。体重 75kg。右利き、バックハンド・ストロークは両手打ち。(Wikipedia 参照)